

2013年9月期 業績のご報告

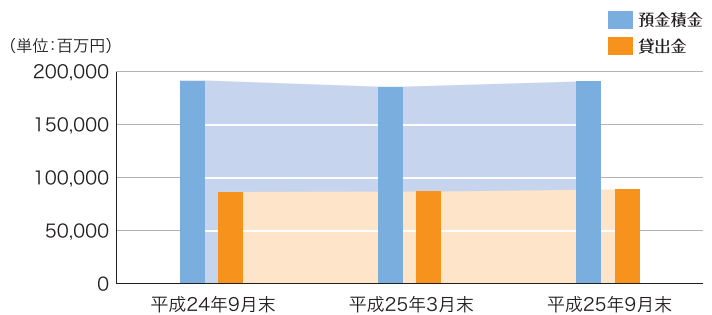
預金積金・貸出金の状況(残高)

預金積金残高は、順調に推移し、前年度末比2.73%増加の1,947億円となりました。

貸出金残高は、地域密着型金融に積極的に取り組んだことにより、前年度末比2.53%増加の909億円となりました。

(単位:百万円)

	24年9月末	25年3月末	25年9月末
預金積金	192,006	189,548	194,723
貸出金	88,135	88,710	90,960



貸出金の内訳(業種別残高)

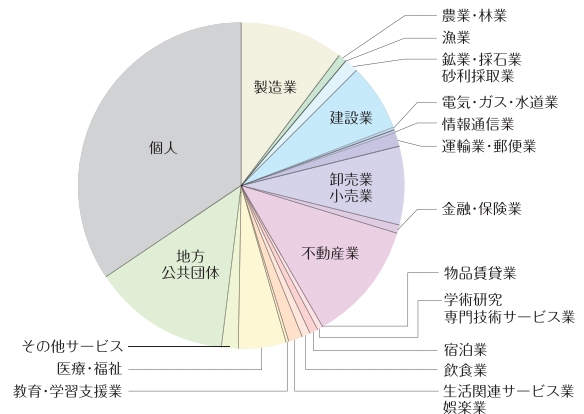
当金庫は、特定業種や大口取引に偏らないバランスの取れた、小口融資を貸出の基本としております。

また、お客様の幅広いニーズにお応えし、地域社会や産業発展に貢献するよう努めております。

(単位:百万円)

	24年9月末	25年3月末	25年9月末
製造業	9,968	9,922	9,547
農業・林業	505	535	582
漁業	17	22	17
鉱業・採石業・砂利採取業	1,333	1,425	1,371
建設業	6,314	6,371	6,144
電気・ガス・水道業	48	68	97
情報通信業	212	105	207
運輸業・郵便業	1,356	1,347	1,247
卸売業・小売業	7,318	7,230	7,241
金融・保険業	718	599	719
不動産業	9,877	10,305	10,859
物品賃貸業	76	71	68
学術研究・専門技術サービス業	323	300	308
宿泊業	987	956	960
飲食業	626	650	669
生活関連サービス業・娯楽業	1,475	1,427	1,381
教育・学習支援業	171	120	127

	24年9月末	25年3月末	25年9月末
医療・福祉	3,985	4,198	4,388
その他サービス	1,247	1,308	1,347
地方公共団体	10,875	11,173	12,563
個人	30,696	30,566	31,110
合計	88,135	88,710	90,960



金融再生法に基づく開示債権の推移と保全状況

当金庫では、資産の健全化を図るため、厳格な自己査定を行い、不良債権の償却・引当を行うとともに、不良債権の新規発生防止に取り組んでおります。平成25年9月末の金融再生法開示債権額は、前年度末比236百万円減少し、5,145百万円となりました。

また、金融再生法上の不良債権比率は、前年度末比0.4ポイント減少し、5.62%となりました。

(単位:百万円)

項目	24年9月末	25年3月末	25年9月末
金融再生法上の不良債権(A)	5,648	5,381	5,145
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,496	3,314	3,106
危険債権	1,635	1,597	1,573
要管理債権	516	469	465
保全額(B)	5,059	4,776	4,553
担保・保証等	4,409	4,182	4,016
貸倒引当金	650	593	537

項目	24年9月末	25年3月末	25年9月末
保全率(B/A)	89.57%	88.75%	88.49%
正常債権	83,111	83,927	86,365
与信合計(C)	88,760	89,308	91,509
不良債権比率(A/C)	6.36%	6.02%	5.62%

*金融再生法開示債権の対象債権は、貸出金、債務保証見返、外国為替、貸出金に準ずる未収利息、貸出金に準ずる仮払金、貸付有価証券、当金庫の保証を付した私募債です。